

係員の
一日

現在の業務内容

私が現在所属している総合政策課は、国内外の経済情勢を調査・分析し、各経済政策が適切に機能していくために必要な政策調整や、予算や税制などの政策立案の基となる情報の発信を行っています。その中でも私が配属された調査第一係は、特に日本経済について調査・分析を行う係で、各政策や国際的な動きが日本経済にどのような影響を与えるのかについて、情報収集・分析を行っています。財務省の中にそのような業務があるとはイメージし難いかと思いますが、財務省で業務を行っていくうえで必要となる経済の知識を習得することができ、また自分が作成した資料等が評価された時には達成感があり、日々やりがいを感じながら業務を行っています。

休日の過ごし方

休日には、友人と旅行に行ったり、ショッピングをしたり、自宅でゲームをして楽しんでいます。平日に消化しきれない家事や掃除もしています。1週間のうちで自分の時間として、しっかりとリフレッシュできる貴重な時なので、自分のやりたいことをして楽しんでいます。



大臣官房
総合政策課調査第一係
林 風子 [令和3年入省]
HAYASHI Fuku

START

9:00
出勤時

少し早めに登庁し、メールのチェックをすることから1日が始まります。前日の退庁後に作業の依頼等があった場合には、まず優先的に対応するようにしています。メールチェックや作業の対応が終わったら、新聞記事や国内外のマーケット状況、その日に公表された経済指標の数値を確認します。国内外の経済状況を把握することはその日の業務を円滑に進めるために必要であり、また自分の業務と深く関連のある話題については、上司と議論を行い、知識を深めることができるアットホームな雰囲気が総合政策課の特徴です。

10:00
午前

午前中は、財務省内で開催される会議の企画を行います。有意義な会議となるように、その時点の経済情勢を踏まえ、会議のテーマの設定や説明内容の調整をします。近年は、オンラインで行う会議が多いため、会議が円滑に進むよう事前に会議環境を整えておくことも重要です。会議当日には会議の進行役の他、予定内容が終了時間内に終わるよう、タイムキーパーの役割を担っています。

12:00
昼食

ランチは、財務省内にある食堂に行く人、お弁当を持ってくる人、コンビニで購入する人など様々です。私は、民間企業から財務省に向向て来ている同僚や先輩に、省外へランチに連れて行ってもらっています。財務省がある虎ノ門周辺はおいしいレストランも多く、お店も選べて気分転換になります。業務の相談からプライベートな話まで、コミュニケーションをとることができる重要な時間です。



14:00
午後

この日は、担当している経済指標「日銀短観(日本銀行が実施する全国企業短期経済観測調査)」について、幹部への説明資料を作成します。誰が見ても重要な点が分かりやすく、内容を理解しやすい資料の作成を心がけて、データをグラフ等に加工し、色や配置、文字の大きさ等を決めていきます。説明の際には、内容や現在の経済状況をよく理解し分析できていないと、質問に答えられないこともあるので、事前に入念な準備をしています。

18:15
退庁前

退庁前には、メールを確認して、やり残している業務や翌日のスケジュールを確認します。本日中に対応すべき業務がある場合には、それらに確実に対応してから退庁します。最後にメールやスケジュールを確認することで、期限が定められている仕事を見落とすこともなく、翌日の業務内容も整理することができます。スケジュールはメールソフトのカレンダー機能、現在対応している業務の整理はリマインダーアプリを活用して、効率的に業務の計画を立てています。

係員の
一週間

現在の業務内容

私が所属する主計局司計課では、主に国の決算や予算執行に関する業務を行っています。具体的には、一般会計年度における国の収入と予算の執行実績を示す決算書の作成、各省庁がどの時期にいくら予算を使用するかを示す支払計画の承認、翌年度への予算の繰越の承認等を行っています。また、国会関係の業務も担当しており、司計課の業務内容は多岐にわたります。決算というと、単に予算の支出の結果に過ぎないと思われがちですが、今後の財政政策を行うにあたっての重要なデータとなるため、1円たりとも誤りが無いように注意をしながら業務にあたっています。

休日の過ごし方

繁忙期の平日は余暇をあまりとれないときも多いため、休日は気分転換をする貴重な時間です。カフェ巡りや居酒屋巡りをしたり、都心に出かけて買い物をしたりして、リフレッシュをしています。また、少しずつ旅行をする機会も増えてきており、最近行った京都では、寺社仏閣を巡りながら御朱印集めをしたり、京都の街並み散策を楽しんだり、京料理を堪能しました。数年ぶりに訪れた京都でしたが、日本の古き良き文化を間近に感じることができ、いい気分転換になりました。



主計局司計課司計第二係

木村 聖哲 [平成30年入省]
KIMURA Toshiaki



START

月曜日

担当省庁の予算について、ひと月分の支出許容額を決める支払計画の申請が届いたため、その確認を行います。この時期に支出を必要とする理由の確認や、予め担当省庁が作成した支出予定額以上の金額を支出しようとしている場合には、予定額作成時に何故その支出を見込むことができなかったのか、理由を確認します。その後は、担当として問題がないと判断し、上司の了解を得て承認を行うこととなります。また、今週の金曜日には予算執行に関する調査のための出張があるため、事前に資料に目を通しておき、疑問点などをメモしておきます。

火曜日

担当省庁から、予算の繰越についての申請資料が送られてきたため、その内容について確認し、疑問点が解消されるまで担当省庁へ質問します。今回は、繰り越さなければならない理由や、その繰越金を使用するための事業スケジュールについて疑問点があったことから、その内容を担当省庁に伝え修正してもらったこととなりました。その後、修正されたものを確認し、要点を押さえたうえで上司に説明し、追加で確認すべき点があったため、その内容を担当省庁へ確認しました。

水曜日

決算書の参考資料として作成する「決算の説明」について、担当省庁と文言の調整や金額の確認作業を行います。作成にあたり決められたルールに則った記載となっているか、また、過年度の記載と比較した際に、明らかな体裁の誤りがないか等を確認していきます。確認してみると、ルールどおりに記載されていない箇所があったため、担当省庁に連絡し修正を依頼しました。また、昨日確認を依頼した作業に対する回答が担当省庁から届いたため上司に説明し、了解を得られたので申請を承認しました。

木曜日

担当省庁から概算払についての申請資料が送られてきたため、その内容について確認します。国の予算の支払いは、事業等が終わった後に実際にかかった金額について精算するのが原則ですが、国費で事業を行う事業者の中には、十分な資金がない者もあり、事業完了後の精算では事業を円滑に遂行できない場合があります。そのため、一定程度の金額を予め事業者に支払い、事業の円滑な遂行に努めてもらうのが概算払制度です。この概算払の申請について、なぜ概算払が必要なのか、支払う金額は妥当か、支払う時期は適切か等を確認します。

金曜日

書類審査だけでは分からない予算執行現場の状況等を調査するため出張に向かいました。目的地に向かう新幹線の中においても、到着後スムーズに調査を行うことができるよう、資料やスケジュールの再確認を行うことを心がけています。審査する案件が膨大であるため、全ての現場を調査することは難しく、時には担当省庁から送られてきた書類等の確認で繰越審査を行っておりますが、こうして実際の事業実施現場や事業実施箇所の状況を自分の目で見ることは新たな発見を生み、日々の業務の理解を深めることにも繋がります。

若手職員座談会

主計局・理財局・国際局で働く入省2～6年目職員に現在の業務内容、財務省を志望した理由、本省一般職の魅力について聞いてみました。

CROSS TALK

現在の業務内容について

折原:私は理財局で財政投融资計画の編成と執行業務を行っています。財政投融资を活用している機関のうち、国土交通省が所管しているもの、例えば鉄道や空港といった運輸に関する機関を担当しており、8月末から12月にかけて、担当する機関における財政投融资額について関係者と調整の上、決定しています。その他、当年度の財政投融资を実際に執行する業務も行っており、投融资先の資金繰りや根拠法令等を確認し、投融资を実行しています。



児玉:私は理財局総務課で、局の幹部のスケジュール管理など理財局全体の業務が円滑に進むよう総括的な目線で局内の調整業務を行っています。スケジュール管理にあたっては、限られた時間を効率よく使えるよう検討し、急用が発生しても影響が最小限で済むように関係者間の調整を行っています。些細なことでも必ず確認し、すぐに情報共有することを意識しています。

櫻井:私は、国際局の開発機関課で途上国に対する開発援助政策に関する業務を行っており、途上国の貧困削減や持続的な経済・社会的発展を支援する国際開発金融機関を通じた資金協力支援に携わっています。なかでも、私は米州開発銀行(IDB)とアフリカ開発銀行(AfDB)を担当しています。業務の一例として、各機関から提案される支援策について、十分な効果が期待できるのか、日本の開発援助政策に沿っているか等の観点から審査を行っています。

林:私は主計局総務課で、国の一般会計予算の

総括(取りまとめ)を行っています。予算編成期には、まず各府省庁から提出される概算要求額の取りまとめから始まり、最終的には各省庁の予算担当によって編成された個別の予算案の取りまとめを行っています。100兆円を超える国の予算の総括というとてもスケールの大きい業務に入省一年目から携われていることを嬉しく思います。

財務省に興味を持ったきっかけや財務省を志望した理由

折原:国民全体の利益向上のために働くことができるという国家公務員の仕事に魅力を感じました。そのうえで財政・金融に興味があったことから経済官庁の説明会に参加し、最終的には、説明会で温かみのある職場の雰囲気に魅力を感じたため財務省を志望しました。

櫻井:私も国民全体のことを考えて働く国家公務員という職業に魅力を感じていました。そのうえで、最終的な決め手となったのは財務省職員の雰囲気でした。学生の時に参加した説明会で、年の離れた職員の方でも親身に相談に乗ってくださったのが印象的でした。

児玉:私も業務内容はもちろん、職員の雰囲気は財務省を志望する大きな決め手となりました。林さんは入省一年目だけど、なぜ財務省を志望したの?

林:志望府省庁を決めるのはとても迷いました。実際、財務省以外にも興味のある府省庁はありましたが、財務省の業務は予算を通じてより多くの政策や人を支えることができると感じました。実際に予算の執行の現場を視察した際には、農林事業に加え、学生時代に興味があった社会福祉事業を複合的に支える現場を目の当たりにし、どの現場にも財務省が担う予算が関わっていることを改めて実感し、今後、様々な分野に携わり業務を行っていけることを嬉しく思いました。

また、櫻井さんがおっしゃったように、職員が



部局を超え、若手で語り合いました!

一人ひとりの受験生に親身に向き合ってくださいのが印象的で、この人達と一緒に働きたい!と、思って財務省に決めました。

本省一般職の魅力について

林:本省一般職の魅力は何と言っても、若手のうちから本省内の部局を複数経験できることではないかと思います。既にいくつかの部局を経験されている皆さんは、実際に異動を経験されてみてどうでしたか?

折原:私はこれまで主計局と理財局を経験しました。主計局では予算編成に携わり、現在は理財局で財政投融资計画の編成に携わっていますが、予算と財政投融资では課題に対する支援の仕方が異なり勉強になりました。やはり、こういうところは1つの部局で働いただけでは知ることができないことで、複数の部局で様々な業務を経験できたからこそこの発見だと思います。

櫻井:それに、財務局、税関、国税局等からの出向者など、様々なバックグラウンドの職員がいる本省の中で、身近に同じ採用元の先輩がいるのは有り難いですね。複数の部局を経験するにあたっては、自分のキャリアプランに結構悩むのですが、その時に若手の先輩はもちろん、複数部局での勤務を経験したベテランの先輩からもお話を聞くことができ、とても心強い参考になると感じています。



児玉:確かにそうですね。先輩という立場だと、総合職採用や財務局、税関、国税局等からの出向者など様々なバックグラウンドの職員がいる職場で、本省一般職採用の職員と聞くとも面倒を



主計局総務課
予算総括第一係

林 花連
HAYASHI Karen
【令和4年入省】

理財局計画官
国土交通第二係

折原 健太
ORIHARA Kenta
【平成30年入省】

国際局開発機関課
開発機関第四係

櫻井 柚香
SAKURAI Yuka
【令和2年入省】

理財局総務課
管理係

児玉 啓晃
KODAMA Hiroaki
【令和元年入省】

見てあげたいなという気持ちになりますね。私は同じ課に先輩がおり、業務面でもそうですが、精神的な面でも支えになればと思って飲み会に誘ったりしています。もしかすると、先輩は迷惑に思っているかもしれませんが。(笑)

林:そんなことないと思います!その後輩は私の同期ですが、児玉さんに飲み会に連れて行ってもらったことを嬉しそうに話してくれます!



折原:身近に先輩後輩がいるのも難しいですが、本省の様々な部局で同期が働いているのも心強いですね。私が一年生の時、同期が共同して業務を進める担当にいたため、とても助かりました。本省の業務を幅広く経験できること、また、どの部局にも経験豊富な本省一般職採用の職員

がおり、業務面でもプライベート面でも助け合える環境が整っていることが本省一般職採用の魅力ですね。

財務省を志望する方へのメッセージ

林:実際に職員から話を聞くのが一番だと思います。勉強や面接対策で忙しいとは思いますが、多くの説明会に参加し様々な省庁の人の話を聞く中で、自分が働いているイメージを持てるのかが大事だと思います。それが財務省で、いずれ一緒に働くことができればいいと思います。

折原:私自身も説明会に実際に参加したことで財務省に対する印象が変わりました。時間の許す限り多くの説明会に参加して欲しいと思います。そして、後悔のない就職活動をして欲しいと思います。そのうえで、財務省を希望してくれたら非常に嬉しいです。

児玉:折原さんのおっしゃる通りなのですが、きっとどこに就職しても、ここに入って良かったなという瞬間と大変だなという瞬間のどちらも

あると思います。働き始めてから、自分の選択が正しかったと思えるよう就職活動だけでなく、就職後も一生懸命頑張ることが大切だと思います。就職活動の時点で人生が全て決まるものだと気負い過ぎることなく、就職活動をしてもらえばいいと思います。



櫻井:繰り返しになりますが、実際に職員と会っていただくのが一番いいですね。採用パンフレットを読んだだけではどのように働いているのかイメージが湧かないかもしれません。是非一度、財務省の職員と会っていただきたいです。財務省でお待ちしています!



主計局給与共済課
鈴木 玲花
SUZUKI Reika

同期の
誕生日パーティーを
したこと



主計局司計課
阿部 匠
ABE Takumi

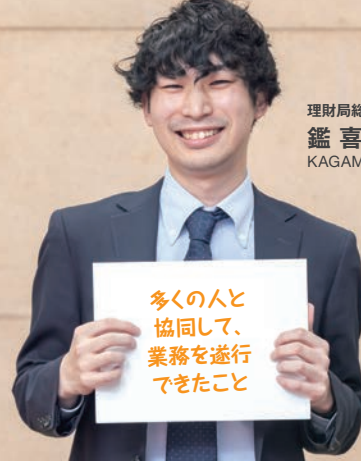
他省庁の食堂巡り

同期との
思い出は？



大臣官房総合政策課
原本 真由
HARAMOTO Mayu

基礎研修中の
最終テストに
向けた勉強会



理財局総務課
鑑 喜一
KAGAMI Kiichi

多くの人と
協同して、
業務を遂行
できたこと



国際局為替市場課
板倉 由夏
ITAKURA Yuka

国際機関との
取極締結に
携わることが
できたこと

今まで
やりがいを
感じたことは？



主計局司計課
多田 侑真
TADA Yuma

大臣同士による
予算の最終折衝に
携わったこと

令和4年採用職員からのメッセージ

令和4年採用職員12名に、就職活動時のことや入省してからの1年間を振り返ってもらいました。

Q1 職場・課内の 雰囲気はですか？

- 非常に風通しがよく、自分の意見を素直に伝えることができます。年齢関係なく、上司や先輩に対して自分の意見を話せる場があり、業務にやりがいがあります。昼休みなどは一緒にご飯を食べながら雑談をすることも多く、和気あいあいとした雰囲気も大きな魅力です。
- 風通しがよく、メリハリのある職場です。一日を通して職員同士のコミュニケーションが絶えず、休憩時には仕事以外の会話で盛り上がることも多々あります。その一方で、業務中は上司や先輩は真剣に業務に向き合っており、その姿はとてもしっかりと、自分もそんな職員になりたいと思います。
- 職員一人ひとりがプライドを持って業務に取り組んでいる姿勢を目の当たりにし、学ぶことが多いです。また、主計局では、係で丸となって予算を作っていく、という前向きな雰囲気があります。業務に関して悩んだときは、上司や先輩にすぐ相談できるので安心です。

Q2 どんなことを心がけて 仕事をしていますか？

- どんな業務においても自分の考えを持つようになっています。上司や先輩に仕事の相談をすることが多いですが、その際に仕事を丸投げしないようになっています。自分の考えを伝えることで、仕事に対する責任感が生まれ、やりがいを強く感じることができます。
- 仕事を上手くこなそうとするよりも全力で取り組むこと、そして自分の業務がどんなに小さく目立たないものであっても、最終的には国民生活の基盤を支えることに繋がっているというプライドを持って日々仕事に励んでいます。

Q3 入省してから成長したと思う 部分はどこですか？

- 落ち着いて仕事ができるようになりました。スピードと正確さのどちらも求められる場面も多いので、業務の優先順位を考えて順番に処理するように心がけています。ミスをしてしまう時もありますが、上司からいただいた「入省当時より確実に成長しているから自信を持ちなさい。」という言葉が励みになっています。
- 物事に優先順位をつけて取り組むようになりました。私の所属している係は日々様々な作業依頼に対応しているため、緊急性と重要性の二つの観点から「何をすべきか」を考えて業務に取り組むようになりました。

Q4 どんなことを考えて 就職活動をしていましたか？

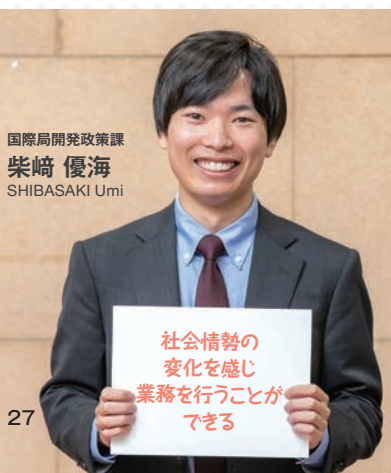
- 自分の直感を大切にしました。就職活動をしていたときは、どの選択肢も魅力的に見え、その中から一つを選ぶことはとても難しいものでした。そこで、最低限選択肢を絞ったうえで最後は直感に任せました。職場の雰囲気やそこで働く職員の人柄など、言葉で説明できない魅力にアンテナを張り、最後は自分を信じるのが大切だと思います。
- 10年後、20年後も働き続けられるかということを考えていました。そのためには、業務内容への関心や仕事へのやりがいはもちろん大切ですが、職員の雰囲気や人柄も重要だと思います。

Q6 財務省を志望する方へ メッセージ

- 私も当時そうでしたが、財務省は忙しく、職員の雰囲気もお堅いイメージがあるかもしれません。しかし、実際は、気さくで楽しい方ばかりです。後輩の面倒見が良く、かわいがってくれる先輩が多いので、1年生でもとても働きやすい環境だと思います。財務省でお待ちしています！
- 財務省の業務は注目度が高く、私が携わった業務が1年間で数回新聞やネットニュースに載りました。若手の職員であってもそのような業務に携わる機会があり、全ての業務において国の根幹を支えているという自覚を感じて仕事に取り組むことができています。ぜひ説明会に参加して直接職員から様々な体験談を聞いてみてください。

Q5 財務省を志望した理由は なんですか？

- 説明会に参加した際の財務省職員の優しい人柄に惹かれ志望しました。また、財務省といえば主計局の予算や税制に関する業務のイメージでしたが、そのほかにも様々な業務があり、業務の幅広さを感じたことも理由の一つです。
- 規模の大きな仕事に携わることができることに魅力を感じ、また、これまで学んできたことが活かされ、経験したいことができそうな職場だと感じたからです。
- 財政を通じて他省庁の仕事にも携われる点が魅力的でした。説明会や相談会で職員の方々の仕事に対する誇りやポジティブな姿勢を見て、こんな人達と一緒に日本の未来のために働きたいと思ったことが決め手でした。
- 予算という側面から幅広い事業を支えることができる点に魅力を感じたからです。また、就職活動の際、採用担当の方を始めとした様々な職員の方とお会いし、学生に寄り添う姿勢、自分の業務に誇りを持って働く姿勢に胸を打たれ、このような方々と一緒に働きたいと思いました。



国際局開発政策課
柴崎 優海
SHIBASAKI Umi

社会情勢の
変化を感じ
業務を行うことが
できる



国際局開発機関課
新里 柚
SHINZATO Yuzu

1年目から
裁量のある仕事が
できる

財務省の
魅力は？



大臣官房会計課
澁坂 佳希
SHIBUSAKA Yoshiki

お金を通じて
国民生活を
支えることができる



大臣官房秘書課
佐々木 愛聖
SASAKI Ami

部屋の掃除をして
リフレッシュ
しています



大臣官房秘書課
安藤 樹一
ANDO Juichi

友人と
フットサルをして
身体を
動かしています

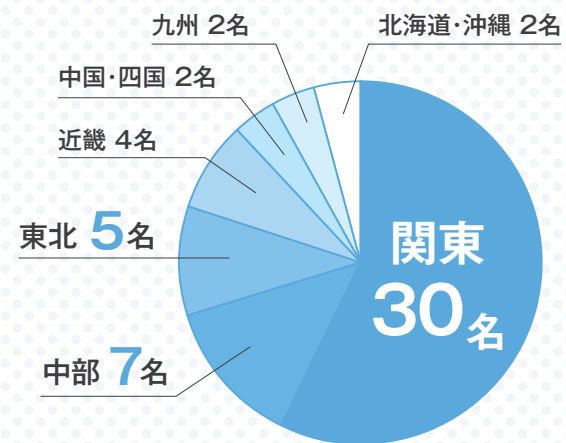
リフレッシュ
方法は？



主計局総務課
林 花連
HAYASHI Karen

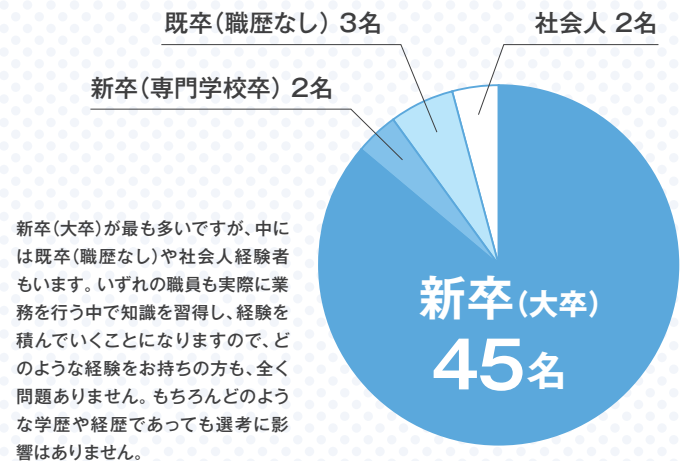
同期や友人と
おいしいものを
たくさん食べます

Q1 出身地はどこですか？



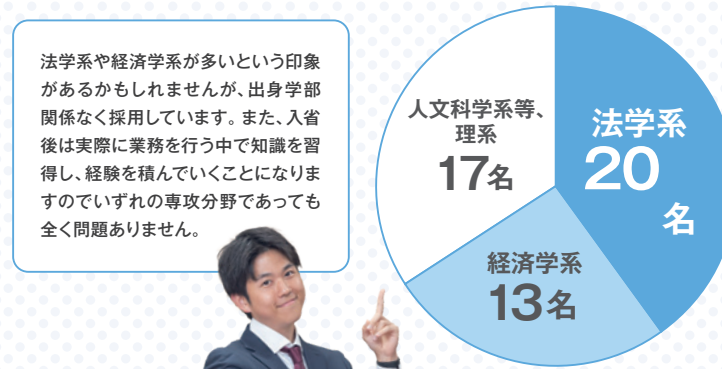
国家公務員一般職試験については、受験した地域区分(ex.行政関東)に所在する機関での採用が基本ですが、中央省庁については、全国のどの地域区分からも採用が可能のため、全国各地から職員が集まっています。

Q2 採用時の経歴は？



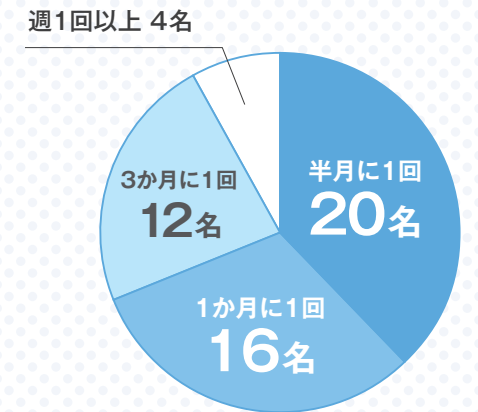
新卒(大卒)が最も多いですが、中には既卒(職歴なし)や社会人経験者もいます。いずれの職員も実際に業務を行う中で知識を習得し、経験を積んでいくこととなりますので、どのような経験をお持ちの方も、全く問題ありません。もちろんどのような学歴や経歴であっても選考に影響はありません。

Q3 大学での専攻は？



法学系や経済学系が多いという印象があるかもしれませんが、出身学部関係なく採用しています。また、入省後は実際に業務を行う中で知識を習得し、経験を積んでいくこととなりますのでいずれの専攻分野であっても全く問題ありません。

Q4 会社の同僚や同期と飲み会や食事等に行く頻度はどれくらいですか？



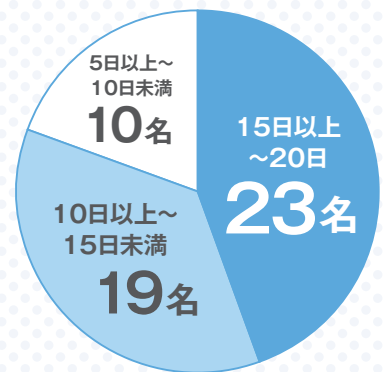
同僚や同期との飲み会や食事は、リフレッシュできる場でもあり、また、業務で困ったことなどを相談できる場でもあるため、大切な時間です。時には、上司と飲み会や食事をすることもあります。普段はあまり聞くことができないプライベートについても知ることができ、上司の人柄をより知ることで業務を円滑に行うことにも繋がります。

若手職員 アンケート

若手職員の入省前の経歴・入省後の生活・働き方、若ら入省7年目までの職員(平成28年度~令和4年度)

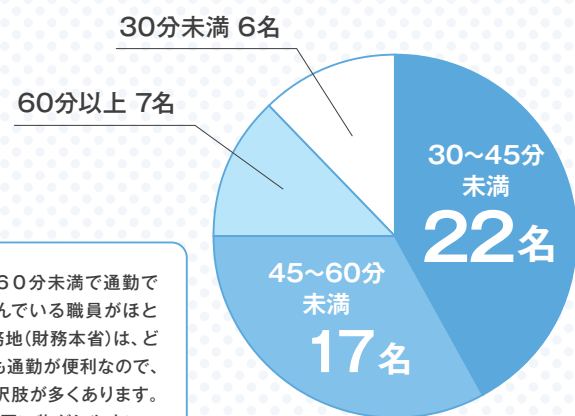
手職員を感じる財務省の魅力について、入省2年目か入省)計52名にアンケートを行いました!

Q5 休暇取得数はどのくらいですか？



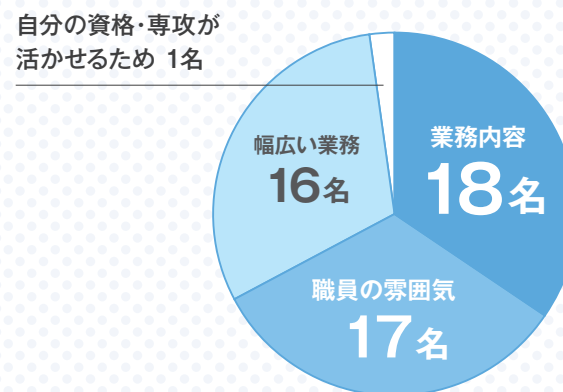
財務省は忙しいというイメージがあるかもしれませんが、積極的な休暇の取得が推進されており、気兼ねなく休暇を取得することができます。休暇の活用により、ワークライフバランスを充実させ、心身がリフレッシュされた状態で業務に臨めるような職場環境づくりに取り組んでいます。

Q6 通勤時間はどのくらいですか？



財務本省まで60分未満で通勤できる場所に住んでいる職員がほとんどです。勤務地(財務本省)は、どの沿線からでも通勤が便利なので、住む場所の選択肢が多くあります。例えば、帰りに買い物しやすいエリアを選んだり、座って通勤できる始発駅があるエリアを選んだりすることもできます。

Q7 財務省を志望した理由は？



財務省は、他の省庁と比べても、業務内容が分かりにくい、業務が複雑そう、職員も固い、といったイメージがあるかもしれませんが。しかし、実際には、国家財政を通じ、多種多様な分野・業務に携わることができ、また、職員も前向きで明るい職員ばかりです。

Q8 財務省の魅力は？

- 挑戦できる機会がたくさん与えられている職場
- 日本の基礎をつくる仕事ができる!
- 業務の幅広さと職員の士気の高さ
- 優秀で尊敬できる人が多くいること
- 魅力ある人が集まったチームで、業務を遂行していくことができる!
- 予算を所管している省庁であるため、様々な他省庁の制度・政策に関わることができる!